



涙っ子

発行 カトリック浜寺教会

高石市羽衣 2-2-27

TEL072-261-1563

FAX072-261-1594

2015年10月号 (2015.09.27 発行)

今日も生きていくよ

大阪教区 助祭 崔 周永

それは突然始まった。頭の左の方から耳鳴りが始まったのだ。大腸がんにかかって手術や抗がん剤といった治療が終わり、3年間の予定で薬を服用していたところだった。暫くしたら、あるいはある程度病気から治れば、止まるだろうと思っていた。しかし、耳鳴りは今も続いている。2002年秋に外科手術、2003年の春から半年間抗がん剤治療、それから薬を飲み始めて一年半が経ってから始まった耳鳴り。という2005年の春頃耳鳴りは始まったことになる。もう10年か。

鳴り始めて半年くらいは気になっていた。その後は自然に諦めがついた。逆に耳鳴りが体調の警報器のように働いてくれることに気づいた。疲れ切っていて休みが必要なときには、耳鳴りが二倍増しになるのだ。頭の中で響く音量も大きくなるし、右の方からも鳴り出す。ステレオという感じだ。この段階はかなり疲れが溜まった状態を示すのだ。兎に角仕事から離れ音楽を聴くか、軽く目をつぶって仮眠を取ることにしている。目立つ程ではないが、確か左の聴力も多少落ちたようだ。音というのは固有の周波数を持っている。耳鳴りのそれと外部の音がシンクロする場合、つまり同じ周波数になると音の区別がつかないというわけだ。今のところ特に不便を感じたことはない。

これは治らないのだと分かったとき、自分なりに耳鳴りと仲良くやっていけるコツを掴んだのだ。

父は自転車に乗れない。自転車ののろのろやすいすい速度感を知らない。世の中には先天的に何かができない人があるものだ。どうしても地球の引力に任せ切れずに、倒れてしまう。もうちょっとの辛抱で乗れたかどうかは知るすべがない。どうしても出来ない、というところの具合はあまりにも主観的なものなので、当の本人しか分からない。とにかく彼なりの努力はしたけど、出来なかったということであろう。自転車って大人になれば、誰だって乗れると普通は思われる。自転車に乗って足が地面につくなら、何とかしてみすばらしい格好でもペダルは踏める。それで、何となくいつの間にか自転車は安定を保つようになる、という按配だ。父はそれすら出来ないのだ。

子供の頃から自転車が好きだった。大人の自転車しかなくて、やむを得ず、片方のペダルに片足だけを寄せ、残りの足で地面を蹴る。勢いの失いかけたところでまた蹴る。バランスを取りながら自転車に乗る、のではなく貼り付き、蹴り続けるといった感じで乗り始めた。バランスを取るといっても自転車は明らかに傾いているのだけだ。

その次のレベルは、自転車の三角アングルに足を突っ込んでペダルを踏む。これではペダルを全部回せず、三分の一か四分の一くらい回転させては、元に戻してまた三分の一か四分の一を踏む。上手い人はほぼ半分くらい回せたが、まだ自転車に乗るとは言い難い乗り方だ。ようやく大人の自転車が普通に乗れるようになったのは小学校6年のときだ。夏と冬の休みには田舎のお婆さんの家で遊び三昧に過ごした。自転車に乗りペダルを踏み、行ける所まで行ってみたかった。坂を上り切ると目の前に現れる広々とした野原の風景が今も思い浮かぶ。

父が人生を通して見てきたものはどのくらいの速度感で捉えられるのかな、と考える。それはどういう風景だったろうか。息子の観点からではなく、同じ大人という立場で父のことを考えるようになったのは何時からか。今から先ずっと自転車に乗る度に父のことが思い出されそうだ。

今年の夏も酷かった。暑さは年毎に増している感じだ。しかし、どんなに暑い夏であっても、今私は過ぎ去った、暑くて酷いなとも思っていたあの夏を懐かしんでいるのだ。

冷え性の体質のためなのか、夏が好きだ。もっとも夏が気に入る理由は別にある。セミだ。

セミの鳴き声が好きなのだ。7月に入るとセミの初鳴き声を待つのだ。うるさいとも感じられるあの泣き声が何故好きなのか。生命力と言ったらちょっと分かり難いかな。セミの生態、つまり長い間地下で過ごしてようやく羽化し地上に上がって来ては、一週間しか生きれないのだと分かるずっと前から好きだった。日本の夏は蒸し暑い。しかし、隣の韓国の夏は木陰にさえ入っていれば涼しいのだ。頭の上から落ちて来るやかましいくらいのセミの鳴き声が耐えられるならばだけど。

子供の頃から考え深いっていうか、一人でぼっとしているのが好きだった。何か物足りなさを感じていたのだろう。この現実ではなく、もっと自分らしく生きていける何処かを憧れていたと今になっては分かる。小さな少年に出来ることはあまり多くはなかった気がする。アメリカのある映画の台詞のことを思い出す。クリント・イーストウッド主演の、監獄からの脱走映画だった。彼の子供の頃はとうだったのかと訊いてくる囚人同僚に、彼はこう答える。「短かった」と。どうだろう。一言で答え難い質問だ。

更にセミの話だ。セミの鳴き声を聞いていると、自分自身が生きている感覚が高まる。生きるということって素晴らしいなとしみじみ感じる。夏の短いときをセミたちは一週間の寿命中ずっと鳴き続けるのだ。その泣き声は次のセミたちによって鳴き継がれる。セミの鳴く期間が夏の八週間だとすると、少なくとも八世代のセミが鳴き継ぐわけだ。生き物は寿命があり、必ず死ぬ。夏の真ん中あたりから木の下ではセミのなきがらや死にかけたセミを見かける。あんなに猛烈に鳴き続けてきてすべてを使い切った生き物をそっと手のひらに乗せる。既に死んで軽くなっているものもあれば、まだもそもそと手のひらの上を這い回るものもいる。元気よく木に登り、力強く鳴き出す気力はもうない。充実に生を生き貫いた彼のため一番静かな所を探し出す。木陰の芝生がいいだろう。命は生まれ、成長し、衰えていき、やがて消えていく。そういったサイクルの厳かさをセミは見事に見せて、いや、聞かせてくれる。ということで、セミが、好きだ。

幸せだと感じる。幸せだなと感じている自分を感じる。今も脳の片方ではあの音がする。漢方的な捉え方では次のようだ。体の「気」が弱まっていて、「気」を取り戻すべきだと言うだろう。摂養が大事だとも言ってくれるだろう。しかし、それはどうでもいいことのような気がする。いつからか耳鳴りがセミの鳴き声の如く聞こえてきた。大好きなセミの鳴き声が一年中聞ける。幸せだ。

父は13年前に洗礼を受けた。洗礼名はマルコ。福音記者マルコの象徴は牛、父の頑固とも言える真っ直ぐな生き方に相応しい名前だ。13年前というはまだ父の息子、つまり私が病を患っていた頃だ。息子が死んでしまうかもという無残な状況で神様と出合ったのだ。

神様にすべてを委ねながら父が余生を生きていけばと祈るばかりだ。

夏は過ぎ去った。セミが苛烈に鳴き続いていたあの時空間。二度と戻ってくれやしない。

あの夏の、あのセミたちは何処に行ったのか。あの猛烈な鳴き声と共に。

しかし、いいだろう。生きていくのってその末が分かっているのではないか。永遠の命の源である神様の元に帰っていくのだ。



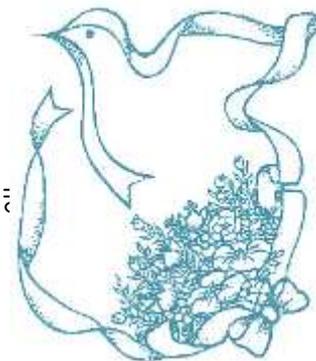
セミたちよ、あそこで会う日まで、暫くさよなら。わたしも精一杯生きていくよ。

堅信式のお知らせ

10月25日（日）に堅信式が行われます。
会場はカトリック岸和田教会です。
当日は岸和田教会でごミサに与り、共にお祈りいたしましょう！
式後にパーティーも行われますので、ご参加ください。

今年は浜寺教会で5名の方が受堅されます。

共同体の皆さまとお祈りの花束を行いたいと思い、
共にお祈りいたしましょう！



いざ!! 典礼の頂点へ

大阪教区典礼委員会 主催



第12回大阪教区典礼研修会

季節の典礼

四旬節～聖なる過越の三日間～復活節

白浜 満 神父

サン・スルピス司祭会
日本カトリック神学院

※昨年と時間がちがいます

10/25[日曜日]13時半～16時

サクラファミリア[大阪梅田教会]にて
☎06-6225-8871

osaka.liturgy.jp



参加費無料 事前申込み不要
どなたでも大歓迎!!
典礼委員でない人もみんな来てね!!



2015年9月20日 シルバーの集いより

ご長寿をお慶び申し上げます。
ますますのご健勝を心よりお祈りいたします。



10月の主日ミサ担当一覧

浜っ子 11月号は11月1日(日)発行致します。

	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
4日(日) 年間第27主日	バスコ	申(評議会)	野田(評議会)
11日(日) 年間第28主日	申(評議会)	野田	バスコ
18日(日) 年間第29主日	野田	バスコ	申
25日(日) 年間第30主日	ミサなし	ミサなし	10:00 堅信式ミサ
11月1日(日) 諸聖人	申	野田(評議会)	8:30バスコ (バザー)

◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉)

◇平日のミサ 浜 寺：火曜日(毎週)…9:00

木曜日(第2・第4)…9:30

金曜日(偶数月第1)…9:30

和 泉：金曜日(奇数月第1)…9:30

岸和田：水曜日と金曜日 …… 7:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00(浜寺)

10月の各種集いの案内

キリスト教講座(Fr.野田) …… 毎週木曜日 10:00~11:30; 浜寺教会

第1、3金曜日 19:00~20:30; 浜寺教会

キリスト教講座(Fr.申) …… 毎週土曜日 13:00~14:30; 岸和田教会

第2バチカン公会議に親しむ勉強会(Sr.ルイザ) …… 毎週土曜日 14:30~16:00; 和泉教会

10月の奉仕者当番表

典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

	先唱	子供侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
	大人侍者						
4日					典礼	泉大津	泉大津③
11日					青少年		堺
18日					評議会	堺	高石
25日	岸和田教会 ミサ 10:00 (前田大司教)						
11月 1日					広報	高石	泉大津①

(敬称略)